

2月20日：VN 指数は上昇トレンドを維持 (VN-Index +0.34%)

- VN 指数は他のアジア市場とは対照的に、上昇して取引を開始した。
- 開始直後はいくつかのセクターが軟調に推移したため、指数は低下した。
- その後は買いの勢いが強まったものの、上昇し続けるには不十分だった。
- 後場に入ってももみ合い相場が続き、最終的には始値付近での大引けとなった。
- 化学や不動産セクターなどが上昇のけん引役となった。
- 254 銘柄が上昇、205 銘柄が下落、85 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は約 6%減の 16.3 兆ドンとなった。

VN30 指数は引き続き上昇に貢献 (VN-30 +0.36%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、18 銘柄が上昇、7 銘柄が下落、5 銘柄が変わらずとなった。
- VHM (+3.71%) と GVR (+2.21%) の 2 銘柄が 2%超上昇した。
- 一方、LPB (-1.09%)は 1%超下落した唯一の銘柄だった。

セクター・個別株の動き

- KPF (-5.70%)は、監査済み 2024 年半期決算報告書の提出が 6 ヶ月以上遅れたため、HOSE から取引停止処分を受けた。
- AGG (-0.59%) は、不利な市場状況と実現可能性への懸念により、既存株主を対象とした増資計画の中止を発表した。
- 外国人投資家は 2,770 億ドンの売り越しに転じた。VHM(+3.71%)と GVR(+2.21%)が買い越され、FPT(-0.69%)が売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。この二



ニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。